

■前回の振り返り(イチオシの事業・取組)について

つどう ~にぎわい・交流~

まちづくりの整備の方向性～計画の記載案～

選択ポイント

具体的なイメージ

①都市基盤整備等にあわせて、日常生活の利便性を高める機能をもつ商業施設や市民ニーズを踏まえた施設など、集客・にぎわいの創出に資する土地利用の誘導

・既存商店街に人が集うことで各商店がにぎわう状況を作り、そこから地域の魅力を高め、住みよい街にしたい
 ・**人が集まる場所が必要**
 ・市民ニーズの把握や土地利用誘導・調整は市が主導しないと難しいのではないか

・「**中江戸**」のように東伏見にコンセプトを設ける
 ・**温泉・足湯等の設置**
 ・案内板等の設置

—

②にぎわい・地域のコミュニティ形成の視点や市民ニーズを踏まえた高架下利用の検討

・高架下の無償利用エリアを活かすことで、駅の魅力を高めることが出来る
 ・にぎわい創出には早稲田大学との連携も重要

・改札から高架下の店舗等へ直接行けるようにする
 ・駐輪場や休憩できる場所(カフェ)等の整備
 ・施設整備のみではなく、**早稲田大学等と連携したにぎわいの創出**
 ・図書館・アンテナショップ
 ・**図書館、公民館の機能のある施設の整備**
 ・駐輪場の整備

—

③自転車駐車場の再整備やシェアサイクルの取組など、自転車利用の促進に向けた施策を推進

・駅周辺のみならず、駅から離れた場所にも魅力があり、回遊してもらい魅力を知ってもらいたいため

・**シェアサイクルの設置促進、駐車・駐輪場の整備・増設**

④鉄道事業者との連携による地域のシンボルとなる駅舎のデザイン等の検討

・駅舎の**ランドマーク、シンボル化**が必要

・京都の伏見稲荷駅や伊勢の宇治山田駅のように、**東伏見稲荷神社や下野谷遺跡がある駅の玄関口として相応しいデザイン**

⑤公共交通の利便性の確保・向上のため、都市基盤整備にあわせて新たなバス路線の導入・既存路線の再編を検討

・中央線方面への交通手段が増えると、町の活性化につながる
 ・人の流入を促進させるため
 ・地域の発展のために必要で保谷駅からの人の流れが出来ると良い

・駅南北の一体化によるスムーズな人流・物流の実現
 ・保谷駅から東伏見駅を経由し吉祥寺に向かうバスや、鉄道やバス、自動車など乗り換えの利便性を高める
 ・ロータリーを活用した**中央線方面へのバス運行及び下野谷遺跡へのバス乗り入れ**

⑥利用者の安全性の向上や円滑な移動のため、ホームドア設置などのバリアフリー化の促進

特になし

■前回の振り返り(イチオシの事業・取組)について

すまう ~安全・快適~

まちづくりの整備の方向性～計画の記載案～	
選択ポイント	具体的なイメージ
①住環境を維持しつつ、商業地のにぎわいと共存した土地利用の誘導	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の東伏見の良さを残していく ・南北のバランスやアイスアリーナの存続 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や祭事以外で人が集まれる場所の整備 ・アイスアリーナが担っている賑わい機能の維持・創出が必要
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代は定住の際に近場にスーパー等があるか気にするため、商業地のにぎわい 	<ul style="list-style-type: none"> ・かえで通りや高架下は店舗数に限りがあるため、新青梅街道までに住居兼店舗が出来る地域を増やす
②災害に強く安心・安全で、身近にみどりのある良好な住環境の維持、向上	
	特になし
③地区の状況に応じた地区計画等のまちづくりのルールを検討	
	特になし
④防犯灯や防犯カメラ等の設置による防犯対策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の安全を守り、地域内に新たな居住者を増やしていきたい ・防犯対策は重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置に関するルール作り
⑤石神井川の護岸整備や地下調節池の整備等による流域治水対策を促進	
	特になし
⑥地域住民に対する防犯情報、災害時避難場所や避難経路等の周知徹底	
	特になし

■前回の振り返り(イチオシの事業・取組)について

いかす ~魅力の保全・創出~

まちづくりの整備の方向性～計画の記載案～	
選択ポイント	具体的なイメージ
①地域資源を活かしたまちの魅力を高める施設の整備推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・氷川神社は当地区の個性的な地域資源であるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅からのアクセス性、案内板の整備 ・観光資源に関する案内板を駅に設置
②観光・交流を促す地域協働による地域ブランド力の向上・魅力発信	
<ul style="list-style-type: none"> ・氷川神社は当地区の個性的な地域資源であるため ・高架下の無償利用エリアの有効活用 ・協働の仕組みづくりは市が先導すると良いのではと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅からのアクセス性、案内板の整備 ・道の駅を作り商品開発を行う
③地域資源をつなぐ、みどり・水辺・個性のある景観を考慮したネットワーク構築による歩行者等の回遊性向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源が豊富である 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルとなる駅舎や下野谷遺跡、東伏見神社、石神井川等の回遊性を高めつつ地域ブランドとしてグッドデザイン賞をねらう

■前回の振り返り(イチオシの事業・取組)について

- 基盤づくり -

まちづくりの整備の方向性～計画の記載案～	
選択ポイント	具体的なイメージ
①ウォークブル・ゼロカーボン等の視点を踏まえた南北交通広場の再整備と南口交通広場の交通結節点機能の拡充	
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンの視点を踏まえた南北交通広場の再整備 ・協議会の意見を踏まえると、駅周辺の交通状況が一番ネックである ・結節点としての機能充実が必要 ・時間帯によっては混雑するため 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節機能の拡充をしつつCO2削減につなげる ・歩行者や自転車、自動車の干渉が少ないと良い ・広島駅などのように鉄道と各種交通との乗り換えの利便性を高める ・西武バスやはなバス、タクシー、自転車がスムーズに乗り入れ出来る南北動線の拡充及び駅前広場の面積確保
②まちの南北一体化を図る交差道路の拡幅整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・南口の道路が狭く、坂が急であるため ・公共交通やタクシーが利用しやすくなると良い ・歩行者や自転車が南北の移動として活用しているため ・時間帯によっては混雑するため 	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4・17号線を歩行者や自転車が走行しやすい環境に ・駅と高架下の一体化 ・南北一体化を図る交差道路の拡幅整備 ・西武バスやはなバス、タクシー、自転車がスムーズに乗り入れ出来る南北動線の拡充及び駅前広場の面積確保
③公共交通の導入やにぎわい・交流の創出に資する東伏見駅へのアクセス道路(西3・4・17号線(未整備区間))の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車が南北の移動として活用しているため ・保谷の駅から吉祥寺、三鷹に行くこのメインの道が一番重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北一体化を図る交差道路の拡幅整備 ・東伏見駅から下野谷遺跡までの道の傾斜の改善 ・緑がほしい
④多世代交流、地域活性化を促進する施設の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・人が自然に集まることの出来る場所がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的も無く集まれる場所の整備 ・人が集う施設・場所(ふれあいプラザやアイスアリーナなど)の確保

■前回の振り返り(イチオシの事業・取組)について

- 基盤づくり -

まちづくりの整備の方向性～計画の記載案～	
選択ポイント	具体的なイメージ
⑤再編の考え方を踏まえた公共施設等の検討	
特になし	
⑥安全な歩行者の通行や快適な自転車の走行を確保するため、交通広場と調和した、整備済みの都市計画道路(西3・4・16、3・4・17号線)における道路空間の再配分	
<ul style="list-style-type: none"> ・南口の道路が狭く、坂が急であるため ・人が集まる・行き交うのに重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北一体化を図る交差道路の拡幅整備 ・3・4・17号線を歩行者や自転車が走行しやすい環境に ・人が歩きやすい、自転車通行しやすい道路整備 ・駅から商店間の動線や雰囲気作り
⑦地域のにぎわいを考慮した側道整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる・行き交うのに重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が歩きやすい、自転車通行しやすい道路整備 ・駅から商店間の動線や雰囲気作り
⑧地域の拠点となる国史跡下野谷遺跡等の文化財に関連する施設の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・氷川神社、下野谷遺跡に向けた人流 ・東伏見稻荷神社と同様以上に盛り上がるとよい ・文化財や歴史は作ることは出来ないなので、市が継続して整備・維持するのが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたくなるような仕掛け ・資料館整備 ・はなバスの停留所を下野谷遺跡に設け、他の文化施設との連携